

新名神沿線紹介 ～神戸市北区・三田市から～芦有ドライブウェイへ

新名神高速道路の沿線紹介 第3回目は、新名神が開通後、アクセスが便利になる神戸市北区・三田市、7月より株式会社日本政策投資銀行(DBJ)と共同で、事業経営に参画することとなりました芦有ドライブウェイを紹介します。

取材班一行は事務所のある川西市から西へ移動。山陽自動車道の神戸北ICを降りたら大きな複合商業施設がありました。広大な敷地の中かなりの数のお店が立ち並び、すべての店舗を見つけるには時間が足りないくらい大きな施設でした。取材班は『洋服みたい！洋服買いたい！』という気持ちを抑えながら、次の場所、三田市にある『永沢寺 花しょうぶ園』へ向かいました。神戸三田ICから車で30分ほど北へ向かったところがありますが、あたりは自然がいっぱいで癒されます。花しょうぶ園には1万坪の庭園に650種類300万本の花しょうぶが咲いており、残念ながら当日は時期(6月上旬)のせいか花しょうぶはほとんど開花しておらず、開花した時期(6月中旬～7月まで)に再度訪れてみたいものです。また永沢寺そば道場というものがあり、そば打ち体験もできます。班員は丁度お腹がすいたので、寺内にある『永沢寺 雲水そば』へ。



永沢寺で食べた『大きつねそば』
本当に『具が大きい!』

このそばは非常に素朴な味わいで本当においしかったです。私は名物『大きつねそば』をいただきましたが、きつねの大きさにびっくり! 空腹も満たされたので、ドライブを再開。

取材班は神戸市北区にある有馬温泉界隈へ向かいました。有馬温泉の歴史は古く、神代の昔、大己貴命(おこなむちのみこと)と少彦名命(すくなひこのみこと)の二神が山峡有馬の里に温泉を発見したのが始まりだといわれており、道後、白浜と並び日本三古泉に数えられています。また有馬温泉で忘れてはならないのは太閤秀吉(豊臣秀吉)の存在で、たびたび湯治に訪れ、千利休らとともに盛大な茶会を催していたそうです。

そんな歴史に浸りながら、取材班は最後の目的地『芦有ドライブウェイ』へ。

実はこの有料道路、7月にNEXCO西日本が、DBJと共同でドライブウェイの運営会社より株式を譲り受けました。

『芦有ドライブウェイ』は芦屋と有馬を結ぶ約11kmの有料道路です。

六甲の自然を満喫し、さくら、新緑、アジサイ、紅葉、雪景色・・・次々変わる四季の移ろいを味わいながらのドライブが楽しめます。ドライブウェイの途中にある展望台からは、宝塚～大阪市街の景色が一望(夜景100選にも選出!)でき、また、沿線の奥池地区には、グランドゴルフやバーベキューが楽しめる“遊びの広場”があるなど、自然環境と阪神市街地近郊というアクセスの利便性を両立させた快適空間がありました。

取材班3名での取材となりましたが、当日は天候が悪かったものの、非常に楽しいドライブとなりました。



今回のドライブコース



沿線の奥池地区にはグラウンドゴルフやバーベキューができる施設が充実!!



芦有ドライブウェイをドライブ～
自然がいっぱい、ドライブして気持ちいい!



展望台から見える
宝塚市～大阪市街は絶景!
夜は夜景が綺麗でデートに最適。

兵庫工事事務所の紹介



〒666-0016
兵庫県川西市中央町
10番20号
TEL: 072-755-9400 (代表)
TEL: 072-768-8001 (編集部タ'イリン)
FAX: 072-755-9404



- ・NEXCO西日本のホームページ
<http://www.w-nexco.co.jp/>
- ・NEXCO西日本関西支社事業概要
<http://corp.w-nexco.co.jp/activity/overview/exchange/kansai/information/>
- ・高速道路の料金・経路の検索は
<http://search.w-nexco.co.jp/>
- ・サービスエリアのお得な情報は
<http://www.w-nexco.co.jp/sapa/>

NEXCO西日本 お客さまセンター
(7時～24時) 0120-924863 (クルマでおかけ24時間ハローさん)
※フリーコールがご利用できないお客様は、
06-6876-9031 (通話有料) (年中無休・24時間)

Vol. 8 (2010. 7)

News Letter 新名神(高槻～神戸) ～兵庫からの発信～



H22.5.21 川西市東畦野地区
完成6車線設計協議調印式



高槻道路事業及び東灘道路(川西インター線)
川西市東畦野地区 設計協議確認書 調印式

この度、川西市東畦野地区におきまして、完成6車線の設計協議調印式を行うことが出来ました。阪上自治会長様、田中対策協議会長様、御関係の皆様ご協力ありがとうございました。

インデックス

- ・兵庫工事事務所長挨拶
- ・新名神 川下川橋概略説明
- ・新名神事業進捗状況
- ・シリーズ 新名神キーマンインタビュー
- ・新名神高速道路 沿線紹介
神戸市北区・三田市～芦有ドライブウェイ

H22.5.20 海外事業部説明



NEXCO西日本 本社海外プロジェクトチームを招いてNEXCOの海外事業部門の説明会がありました。海外事業についてみんな興味津々。

H22.5.16 川西市クリーンアップ大作戦



昨年に引き続き、事務所社員及び協力社員約50名で川西市内の清掃を行いました。

H22.5.25 安全協議会総会



平成22年度安全協議会総会を開催しました。今後も、工事中の安全・品質の向上に努めていきます。総会の開催には、国営労働基準監督署から安全に関する講話をしていただきました。

H22.5.27 ホテルに関する技術検討会



『ひょうご環境創造協会 出前環境教室講師』を遊ば、ホテルに関する勉強会を開きました。これを参考に沿線のホテル保存に努めています。



『News Letter 新名神(高槻~神戸) Vol.8』発行にあたって

日頃より新名神高速道路の建設事業、そしてNEXCO西日本の事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
 新名神の手作り情報誌として始めたこの『News Letter 新名神(高槻~神戸)~兵庫からの発信~』も、今回で8回目の発行となりました。四半期毎に発行していますので丁度2年を経過したことになります。今後も引き続き定期発行を継続しながら、事業の進捗状況や沿線紹介等の話題を提供してまいりますのでよろしくお願いいたします。今回は、新名神建設事業(兵庫県)の最新の進捗状況についてご報告させていただきます。

まず、用地取得の状況につきましては、用地取得率が51%となり、必要な用地の半分を取得したことになります。その他工事実施が可能となっている県有地をあわせると約60%弱の進捗をみたこととなります。各地権者さまの貴重な土地を提供して頂いたことに対し厚くお礼申し上げますとともに、今後も今年度の目標である80%以上の用地取得率の達成に向け、担当用地課長を中心に兵庫県土地開発公社及び神戸市土地開発公社とともに誠心誠意、頑張っておりますのでご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

次に設計協議につきましては、川西市域において初となる6車線設計協議完了に伴う調印式が、さる5月21日に東畦野地区において執り行われました。川西市域は既に暫定4車線設計協議も開始されており、他地区の6車線設計協議の調印も含め引き続き積極的に協議を推進してまいりますのでよろしくお願いいたします。また、暫定4車線設計協議未了となっている猪名川町域、神戸市域につきましても全面展開しているところですので、暫定4車線設計協議の主な協議事項である環境対策について、よりわかりやすい説明に努めるとともに、道路構造につきましても、図面だけでは把握しにくい内容を、IT技術を活用したバーチャルリアリティ【VR】を用いることにより、どの視点からでも見ることができ、また擬似走行することも可能な立体画像により、よりわかりやすく誤解の生じない説明を目指し実施しているところですので、一日も早く地元の皆様へのご理解と合意が頂けるよう担当工事長を中心に協議を進めてまいります。

工事につきましては、先行して進めている川下川ダム付近の山頂を横架する川下川橋工事では、橋脚高さ95mとなるP2橋脚の深礎くい(15m)の掘削が完了し、さらに傾斜角約50°にも及ぶ急斜面に設置するP1橋脚の施工に必要な機橋が完成しました。今年3月発注した神戸ジャンクション工事では、7月の着工を目指し地元の皆様への工事計画説明、関係機関との協議を推進しているところですので、

また、円滑な土運搬作業を行うのに必要な工事用道路工事は、生野中工事において武庫川を渡河する仮橋が完成した他、宝塚市域では県道瀬瀬宝塚線の切畑交差点から出合までの現道改良(2車線化)工事を行う玉瀬工事に5月より着手しました。また、東側に隣接する猪名川町域の県道切畑猪名川線の現道改良(2車線化)工事を施工する猪瀬工事も近々着手すべく準備を進めているところです。

特にこれらの現道改良工事の施工に際しましては、生活道路としてご利用されている沿線住民の方々への影響を最小限にするよう、技術の粋を結集して工夫しながら進めてまいりますのでご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

一部の高速道路では無料化実験もスタートし、高速道路を取り巻く情勢も日々変化しております。その中で、今もなお毎日のように渋滞しお客様にご不便をおかけしている中国道宝塚付近の渋滞を一日も早く解消し、そして新名神(高槻~神戸間)の整備が日本の元気を関西から発信していく力となることを願って、関係行政・土地開発公社等の皆様と一体となって積極的に事業を推進してまいりますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



NEXCO西日本
兵庫工事事務所
所長 小笹 浩司

事業進捗状況表 (H22.7.7 時点)

市町名	神戸市 北区					宝塚市			川辺郡 猪名川町				川西市		
	八多町 中	有野町 二郎	道場町			玉瀬	武田尾	切畑	猪瀬	つつじ が丘	広根	上野	石道	西畦野	東畦野
		平田	塩田	生野											
地元協議 (完成6車線)	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	(○)	(○)	○	
地元協議 (暫定4車線)	—	○	△	△	△	○	○	○	地区対策協議会協議中			△	△	△	
幅杭設置 (率)	○	△	△	—	△	△	—	○	△	—	△	○	○	△	
	93%														
用地調査	○	△	△	—	△	△	—	△	△	—	△	○	△	△	
用地取得 (率)	○	△	△	—	△	△	—	△	△	—	△	○	△	△	
	51%														
工事用道路 工事	—	—	—	—	③	①	—	①	①	—	—	—			
本線工事	②					①	—								

凡例： ○ ⇒ 完了、△ ⇒ 実施中、空白 ⇒ 未着手、赤字 ⇒ 前号より推進した項目
 (○) は確認書の締結が未了、工事の数字は工事発注件数



編集者より
 暑い日が毎日続いていますね。熱中症や日射病にならないよう体調管理には気をつけて過ごしてくださいね。
 さて、所長挨拶にもありましたが、高速道路は日々変化しておりますが、この広報誌も毎号いいものに変化し続けています。(たぶん) これからもいろいろなものを取り上げ、見ごたえ・読みごたえのある広報誌にしていきたいと思っております。

シリーズ 新名神キーマンインタビュー (第8回)

~(財)神戸市都市整備公社 施設整備推進本部 栗村 優 部長を訪ねました~



Q1. まずは、公社さんの事業概要を教えてください。
 A1. 昭和48年に神戸市都市整備公社から神戸市土地開発公社を分離設立させ、神戸市の要請を受けて都市基盤整備のための公共施設用地を先行取得し、市域の発展に寄与してきました。しかし、最近では、土地価格の下落により土地先行取得の効果が薄くなるとともに、事業量が減少してきています。

同じく昭和40年に都市整備公社から神戸市住宅供給公社を分離設立しましたが、平成19年からは土地開発公社、都市整備公社とあわせて3公社を実質一体に経営しています。

弊公社では、土地開発公社の用地関連事業を含め約10の事業を行っています。主なものでは、街路や学校など公共施設を建設する都市資産整備事業、駅前の再開発ビルや公益施設等を管理運営する管理運営事業、公共住宅等を賃貸する賃貸関連事業、下水道関連事業があります。他にも、住まいサポート事業としてマンションの大規模修繕や、観光レクリエーション関連事業として北神戸ゴルフ場、西神戸ゴルフ場の経営や、摩耶のケーブル・ロープウェイ、六甲有馬ロープウェイの運営も行っていますので、ぜひ皆様のご利用をお願いします。

Q2. 高速道路はよく利用されていますか？また、高速道路に対しての要望等はありませんか？
 A2. 自動車を35年、年1万キロとしてたぶん35万キロくらい運転しています。最近では、新名神を利用して東京まで出かけます。東京までは長いので、3回以上の渋滞に会うことがあります。渋滞と事故のない道路が理想ですね。また、料金割引による渋滞緩和がもっと進むことを期待しています。

Q3. 新名神高速道路神戸市域の用地取得をお願いしていますが、今後の主な問題点やその対応方針、今後の抱負をお聞かせください。

A3. 現在の進捗状況を地区ごとに見てみますと、二部地区で約6割、平田地区で約8割、生野地区が約6割となっており全体で6割強の取得状況にあります。このうち、市域全体の68%を占める生野地区への対応が重点ポイントと考えております。神戸市土地開発公社では、新名神高速道路の用地取得事業を「中期経営計画」に盛り込み、当初の目標であった8割強取得を早期に達成し更なる進捗を図ることを目標としています。このため、今年度から生野地区への対応として2班を追加して、体制の強化を図ったところです。

また、神戸JCT工事に関係するものとして神社の移転が課題として挙げられると思います。地元の大切な財産ですので、みなさん全体の意向にそえるように努力して早期の解決を図っていきたく考えています。

Q4. 新名神高速道路の平成28年度供用に向けて、より一層事業者間の連携が必要と考えられますが、弊社に対するご意見や要望などはございませんか？

A4. 新名神に関する地元の方々相互の理解とご協力が早期実現への近道であることは言うまでもありません。用地交渉に赴き

地権者の方々や話ししても、道路建設後のことや割引料金のこと、ETCの話題など新名神以外の要望も聞けることがあるようです。「設計協議」後に「用地交渉」を開始するのではなく、同時並行で事業進捗を聞ければ、地元の理解が得やすかったのではないかと思います。神戸市では技術職員と用地職員がペアで行動することはよくありますが事業協力への安心感が得られているのではないかと考えています。

昨今の報道では、株式会社としての自立化が、今後更に求められるようになるかと述べられていますが、地方公社である弊社においても同様の視線があります。情報の共有化はもちろんのこと、相互により良い事業パートナーでありたいと思っています。弊社は、地元の最大の理解者であると自負しておりますので、用地取得のみならず技術力を活かして新名神高速道路事業にお役立ちできるのではないかと考えています。



【写真】 左：栗村 部長
 右：インタビュー
 NEXCO兵庫(工)三枝

【川下川橋のつくり方】

兵庫県の新名神高速道路において、高さが一番高い橋となる予定の『川下川橋』のつくり方を簡単にご説明します。川下川橋は高さ約100m、長さ約300mの橋で、基本的にコンクリートでつくられています。現在は、橋の基礎となる部分をつくっています。今後、橋脚、主桁の順番で橋をつくっていきます。(今後、現場見学会等を実施していく予定です。)



橋脚は、しゃくとり虫のように上に登りながらコンクリートでつくっていきます。

この中で、少しずつコンクリートをつくっていき、主桁をのぼしていきます。

主桁は、やじろべえのように、左右のバランスをとりながらつくっていきます。